

# 巻 頭 言

愛知淑徳大学学長  
小林 素文

昭和50年、大学の開学とともに本学の文学部が誕生し、年号が平成とかわる年に大学院文学研究科が設立されました。

本学の文学研究科は文学部を基礎とするものであり、その意味で大学開学以来の文学部の教育・研究の着実な積み重ねの上で開設できたのであり、また平成3年、博士課程に昇格し、現在にいたっているのも学部の実績が基礎となっているのです。

大学院開設10年にあたり、まずは、文学部の開設にかかわった人達、その発展充実にご尽力をいただいた人達、現在文学部を支えておられる人達に厚く御礼を申し上げたいと存じます。

本学文学研究科英文学専攻で学んだ多くの者が、現在大学で教えておられるとのこと、また教職ではなくとも研究を重ねておられるとのこと、また、そうした人達は教員・学生とともに組織する大学院英文学会に属し、共に研鑽を重ねておられるとのこと、心よりの敬意を表します。

また、こうした卒業生も含む大学院英文学会の会員に、指導・助言を惜しまれることのない先生方の献身的なご努力に心よりの感謝を申し上げます。

この10年を機に、大学院英文学会が益々隆盛となることを、そして、お互いの研鑽の場であるこの *Language & Literature* が一層充実していかれることを祈念して巻頭の挨拶と致します。